



平成 22 年 6 月

クラブインフォメーション

発行:(財)鳥取県体育協会 〒680-0944 鳥取市布勢 146-1

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com

第 13 号

第 1 回鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催しました



平成 22 年 5 月 29 日(土)、伯耆しあわせの郷(倉吉市)において、平成 22 年度第 1 回鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催しました。県内の 11 クラブ 16 名の参加がありました。

鳥取県体育協会川口専務理事の挨拶の中で、この会を通じクラブ同士の横のつながりを深めてほしい、現在全国の多くのクラブがスポーツ振興くじ(toto 助成)の支援を受け運営している。全てを toto に頼るのではなく、困った時に支えてもらうというスタンスで活用してほしい、体育協会は情報提供をしっかりとしていくこと、生涯スポーツはこれからは総合型地域スポーツクラブが中心となるであろうと話しました。



続いて長谷川会長進行の下、各クラブの今年度の行事予定についての報告と、現在の問題点の発表がありました。各クラブの発表の後には、たくさんのクラブから質問があり、それに対するアドバイスも多く出されとても参考になったようでした。

平成 22 年度のクラブ交流会については、各クラブから提出いただいた年間事業計画をもとに、事務局側から提案をし、出席者に承諾いただき 2 回の交流会が決定しました。

中部は、打吹スポーツクラブ(倉吉市)主催の「12 時間耐久ソフトバレーボール大会」8 月 28 日(土)、西部は、D オスポーツ(日野町)主催の「日野川くんだり」10 月に決定しました。詳細は後日改めて連絡します。



東部は、この会で決められなかったため、再度協議したのち各クラブへ通知することにしました。

たくさんのクラブがどうしたらよいのか、何をしたらよいかわからず、活動が思うようにできていないところがあるのではないのでしょうか？

自クラブの問題解決、クラブ間のつながりを深めるために積極的に協議会等に参加してもらえたらと思います。

交流会にもどんどん参加してクラブ間の連携を深めましょう！

平成 22 年度第 1 回総合型地域スポーツクラブ連絡協議会参加クラブ

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 境スポーツクラブ | 8. 奥大山ぶなの森クラブ |
| 2. けたかスポーツクラブ | 9. 大山町総合型地域スポーツクラブ設準
準備委員会 |
| 3. ほうきスマイリースポーツクラブ | 10. 南部町総合型地域スポーツクラブ設立
準備委員会 |
| 4. 鹿の助スポーツクラブ | 11. 岩美総合型地域スポーツクラブ |
| 5. 打吹スポーツクラブ | |
| 6. 青谷スポーツクラブ | |
| 7. NPO 法人かほくスポーツクラブ | |

クラブ訪問コーナー

中村です

田淵です



奥大山ぶなの森クラブ＊あそぼうスポーツ



カローリングの対戦風景



ドッジビーの対戦風景

平成 22 年 5 月 8 日（土）、江府町運動公園総合体育館にて開催された「あそぼうスポーツ」にお邪魔しました。

この教室は、5 月から 2 月の毎月第 2 土曜日、6 時 30 分～8 時 30 分、毎回色々なニュースポーツにチャレンジされています。

今年度第 1 回目となる今回は、他の行事と重なったこともあり、いつもより少ない参加者となりましたが、小学生から 80 歳代まで 22 名の参加がありました。

前半はカローリング、後半はドッジビーと 2 種目のニュースポーツを体験しました。

カローリングは 3 つのグループに分かれ、体育指導員の指示のもと各グループで対戦しました。

カローリング競技では、最初はジェットローラーをなかなか真っすぐ転がすことができず、両チームとも無得点というスコアが続きました。

でも徐々に慣れてきて、ポイントゾーンにジェットローラーが届くようになり、チーム同士で作戦を立てて真剣にポイントゾーンを狙っていました。

カローリングは女性や年配の方でも手軽にでき、ドッジビーはちょっと！という方は、引き続きカローリングを楽しまれました。

ドッジビーは小学生と男性方に人気で、子ども達はもちろんですが、男性方も久しぶりの体験（学生以来）で、とても楽しそうでした。（子ども相手でも真剣！）

この「あそぼうスポーツ」を通して親子で触れあえる機会ができることは、とても良いことだと思います。

今回も親子での参加が多かったようですが、たくさんの町民の方に足を運んでもらえる魅力あるクラブになるように、楽しい企画を考えていきたいと思います。

また、クラブ間で道具の貸し借りができたら、もっとたくさんのニュースポーツが体験できるようになると思います。

クラブ間でどんどん情報交換していきたいと思います。



「あそぼうスポーツ」が
1 人 1 回無料でお試し
体験できます。
是非お出かけ下さい。

参加者の声



中尾さん（20代）

童心に帰れて楽しかったです。「あそぼうスポーツ」はとてもいい企画だと思います。保育園児対象の企画もしてほしいです。



加藤さん（小学3年生）

カローリングは真ん中に行かなくて難しかった。ドッジビーは受けるのが難しかった。お母さんと一緒に楽しくできてよかったです。



谷口さん（最高齢）

週の半分は体を動かしています。元気にできることが幸せです。元気でいられるのもスポーツをしているからだと思います。

なぎさナイトウォーク in 浜村温泉＊けたかスポーツクラブ



開会式の様子

平成22年5月22日(土)、気高町で開催された「なぎさナイトウォーク in 浜村温泉」に参加しました。

この日は、小雨のぱらつくあいにくの天候でしたが、小学2年生からご年配の方まで約80名の参加がありました。

午後6時30分の開会式の後、郷土史家の河根裕二さんのガイドと共に約4kmのウォーキングに出発しました。

拠点のヤサホーパークは気高町内から浜村海岸までが見渡せる場所で、ここで気高町の歴史などについて説明がありました。今は住宅が立ち並んでいますが、この辺り一帯は砂浜だったそうです。

文芸の小径では、気高町出身の田中古代子(女流作家・県内初の女性新聞記者)・松本穰葉子(俳人・作詞家:貝がら節・浜村小唄)・濱田台児(画家・気高町名誉町民)らの顕彰碑が建てられています。

他の気高町出身の歌人・俳人・詩人の方も合わせ約50余の句碑があります。

「社叢より湧き出で春の川となる」「新樹道深呼吸また深呼吸」「鷺峰の日がな時雨るる稲を刈る」など地元を詠ったものが多く地元の方には親しみを感じる小径になっています。

文芸の小径の最終地点で、河根さんのお話の中からクイズが出題されました。解説をしっかりと聞いていれば正解できたのですが、全問正解した人は3名しかいませんでした。全問正解者には、最後に豪華?プレゼントが用意されていました。

浜村海岸では、京都造形芸術大学生によるフィールドワーク、「ありえない」をテーマに制作された砂像がろうそくでライトアップされていました。

星が地上に突き刺さった作品・水から階段ができた作品・なめくじの集団が海に進んでいく作品等の大作が約10点制作されていました。皆、ありえないですね。特になめくじが海水に向かって行くのは自殺行為です。

砂像を見学した後は、気高ゆうゆう館まで一気に歩き、抽選会や完歩証の受け渡しがあり、解散となりました。なぎさナイトウォーク in 浜村海岸で、地元に住んでいる人も改めて気高町の歴史や魅力に気づかされ、親子や仲間とふれあえた良い時間だったと思います。



句碑の1つ



ヤサホーパークの登り坂



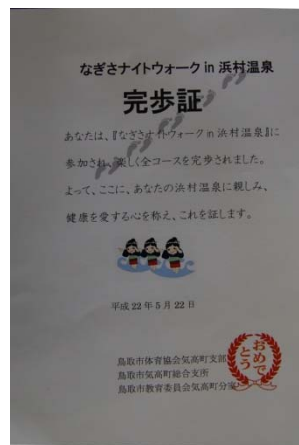
ヤサホーパーク頂上



ヤサホーパークからの眺望



なめくじが海に向かう様子(砂像)



完歩証

鳥取県体育協会からのお知らせ

平成22年度第1回鳥取県クラブマネジャー研修会を開催します

日時: 平成22年7月11日(日) 午前10時~午後5時

会場: 倉吉市体育文化会館(倉吉市山根529-2)

内容: 講義: 「地域スポーツクラブとは」
「地域スポーツクラブの現状」

講師: 松田 雅彦氏(大阪教育大学附属高等学校平野校舎)

事例研究: 活動内容発表

講師: 持田 比佐子氏(NPO法人しんじ湖スポーツクラブ)

たくさんのクラブの参加をお願いします。